



2022年2月24日を境に激化したウクライナにおける武力紛争からまもなく2年。今日もなお戦闘は終息することなく、建物や住居、インフラを崩壊させ、多くの人びとの命や生活を奪っています。避難先から故郷へ帰る人びとがいる一方、未だ1,000万人近くの人びとは国内外での避難生活を余儀なくされ、心身の健康、居住場所、生計などの支援ニーズは引き続き膨大で、赤十字はニーズに応える支援を続けてきました。

この度、皆さまからお寄せいただいた90億円を超える「[ウクライナ人道危機救援金](#)」のもと、ウクライナ人道危機に対し、赤十字はどのように対応してきたのか、支援の振り返りと今後の支援についてご報告するため、オンライン報告会を実施します。

ウクライナで現地副代表として事業の調整を続けてきた職員や、保健医療支援のためウクライナで活動してきた職員の報告により、支援の詳細や現地の声をお伝えします。ぜひご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

日時 **2024年2月20日（火）17:30～18:30**

場所 オンライン（Zoom ウェビナー）※後日 YouTube に動画をアップ予定

内容 現状報告、国際赤十字・日本赤十字社の活動の説明、ウクライナへ派遣された日赤職員の活動報告、質疑応答

報告者 日本赤十字社 事業局 国際部 国際救援課 救援係長 松山 勇樹
日本赤十字社 ウクライナ代表部 副代表 樋野 芳樹（ウクライナより中継予定）
大阪赤十字病院 国際医療救援部 薬剤師 仲里 泰太郎（ウクライナより中継予定）
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
国際医療救援部 理学療法士 中島 久元

申し込み 事前申し込み不要。お時間になりましたら[こちら](#)から、または右の二次元コードからお入りください。



※ブラウザからご視聴の場合、Cookie の設定が必要となる場合があります。